

2010年(平成22年)3月15日 月曜日

# 飲み物手に科学談議

飲み物を手に気軽に科学について語り合う催し「サイエンスカフェ」が14日、ウツティタウン市民センターであった。大阪大学微生物病研究所助

## ウツティタウン

教の東岸任弘さん(仮)が、マリアについて話題を提供し、10〜70代の約30人が感染症について意見を交わした。科学を身近に感じてもらうと市民グループ「三田を知る会」や県内の4大学でつ

阪大助教・東岸さん迎え

## 市民ら感染症で意見交換

る「大学コンソーシアムひょうご神戸社会連携委員会」などが催した。東岸さんは「地球温暖化の進行で日本でもマリアの流行が懸念されているが、果たしてそうだろうか」と疑問を投げかけ、トークを展開。「感染症は貧困とつながりが深く、今の日本では起こらないのでは」など話し、最後は新型インフルエンザ対策についても活発な意見が出ていた。

(松本寿美子)



感染症について意見交換する参加者ら「ウツティタウン」市民センター